

雑感 突然の数式 3.0 失踪事件

■ 2018年1月12日の早朝だったと思うが、WindowsのUpdateが始まり、「最近多いなあ」と思いながら、再起動させた。

前日書きかけで中断していた「雑感」のファイルを開いて続きを書き始め、数式を挿入しようとしたら、「Microsoftの数式3.0」がないようなことが表示された。

私はあるファンクションキーにこの挿入を割り付けてあるので、その設定が壊れたのかと思い、改めて「挿入→オブジェクト」と行ってみると、数式3.0が忽然と消え失せていたのだった。これは一大事である。

■ Wordで文書を作るようになって久しいが、何を用いて数式を書くかは随分悩ましい限りであった。数式3.0以外にも、フィールドコードで書いてみたりしたことや、TeXっぽいものも少し使ってみたこともあるが、数式を多用する文書にとっては余りにも面倒であるし、細かい設定もしづらかったりで、諦めた。

WordでなければStudyaidも便利だが、(新しいバージョンでは改善されているのだろうが)文書の書式設定などの融通が利かなかつたりして、図やグラフを描くとき以外は使わなかった。

■ 数式3.0は入力のショートカットを覚えれば、素早く数式入力できて、便利だったのだ。∫記号がスマートでなく(ある人は、ツチノコみたいだと言っていた。未見だが)みっともないことを除けば、私的には大満足だったのに…。

■ (2007以降の)Wordに組み込まれた数式機能は、様々な点で勝手が悪い。

その1:設定されている(麗しくない)フォントが変えられない。

その2:数式を「文字付き」にすると、分数や積分記号が縮小されて、みっともない($\frac{5}{3}$, $\int_a^b f(x)dx$ のようになる)。文字付きでなければ右のようになる。

$$\int_a^b f(x)dx$$

■ さて、どうしたものか。Officeのディスクを探し出し、再インストールを行い、数式3.0を復活させてみたが、数日後のUpdateで、またしても無惨にも消え失せてしまった。時間を掛けたのに…。

■ こうなったら仕方がない。他の手段を探そう。

結局、行き着いたのは、MathTypeだった。30日の限定試用版で、30日後同じ機能をフルに使うにはCD版で¥27,000、DL版で¥25,000かかるが、最低限の機能なら無料で使え続けられるという。

実は、このMathTypeは数式3.0と殆ど同じ入力が可能で、入力のショートカットも同じである。ちなみにツチノコも健在である。



最低限の機能がどの程度のものかは30日が過ぎてみないと分からないが、数式3.0とほぼ同じならば、無料ですませたいと思っている。

難点を言えば、使えるフォントに制限があるようで、gがgとなるフォントで本文と違和感なく見えそうなものは多くない。上ではEuclidを使っているが、Euclidのxはこれが指数にあると良く読めない(e^x のようになる)のが困りものである。

「Alt+Ctrl+Q」で入力窓を表示でき、その数式をWordに貼り付けるには「Ctrl+S」でできるが、入力窓を簡単に(マウスを使わないキー操作で)閉じる方法が分からない。このため、数式3.0よりも入りに時間がかかっている。

■ この事件の詳細は<http://s-zenba.blog.so-net.ne.jp/2018-01-12>などに詳しいが、何の予告もなく消し去るなんて、極めて理不尽である。

また、こういった遠隔操作が一方的に行われることに、得も言われぬ恐怖も覚える。